

会 議 録（要 旨）

会議の名称	第4回戸田市スポーツセンター基本構想策定委員会
開催日時	令和7年3月25日(火) 午前9時30分～午前11時00分
開催場所	戸田市役所 7階 第5委員会室
出席者氏名	学識経験者（日本薬科大学特任教授兼埼玉県スポーツ協会専務理事）久保 正美 学識経験者（拓殖大学教授）松橋 崇史 学識経験者（平成国際大学専任講師）秋本 成晴 戸田市スポーツ少年団 須田 真司 戸田市レクリエーション協会 山崎 雅俊（代理出席） 戸田市スポーツ推進委員連絡協議会 平野 秀明 公益財団法人戸田市文化スポーツ財団 進藤 秀和（代理出席） 戸田市中学校体育連盟 井原 聡（代理出席） 戸田市 副市長 豊島 浩明 戸田市市民生活部長 五條 宏 戸田市環境経済部長 香林 勉 戸田市健康福祉次長 木村 欣司（代理出席） 戸田市都市整備部長 早川 昌彦 その他市長が必要と認める者 莊 良明
事務局	（文化スポーツ課）戸田市スポーツセンター再整備プロジェクトチーム、 パシフィックコンサルタンツ株式会社
議 題	（1）事例視察の報告資料 （2）基本構想策定に向けた今後の論点として陸上競技場の資料
会議結果	事業方式については、事例等を参考にメリット・デメリットを整理し、戸田市において最適な方式を今後検討していくこととした。また、陸上競技場の仕様については、スポーツセンター全体としての施設利用の方向性を固めたうえで、アリーナをはじめとするその他施設や、公園としての機能を考慮したうえで引き続き検討することとした。
会議の経過	別紙のとおり
議事録確定	令和7年4月12日 委員長 久保 正美

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	■開会
委員長	■議題（１）事例視察の報告について説明をお願いしたい。
事務局	■議題（１）事例視察の報告について説明。
委員長	スポーツセンターを再整備する上で、参考になったと思う。課題や意見をお願いしたい。
委員長	墨田区総合体育館について、PFIの事業期間20年の中での改修は難しいとのことであったが、そのあたりの説明をお願いしたい。
事務局	20年ということで、予想しづらいところがあったかと思う。大きな修繕やリスクについては、リスク分担などが予め想定されていたようだが、細かいトラブル対応や近年の資材高騰などは予想しづらく、それらへの対応が非常に難しいということかと思う。また、多目的な利用やプロスポーツへの対応などの近年のニーズは、設計当初には想定していなかったことであり、対応に苦慮する場面も多いと聞いている。都内初のPFI方式による体育館整備事業として、色々な課題もでてきたかと思う。2030年に事業期間が終了するが、その後の扱いはこれから検討するということで、今後色々と動きがあるかと思う。また、修繕をしたいが、休館をすることが難しく、設備の更新が難しいという話もあった。
委員	墨田区総合体育館の当初の利用料収益の見込みと現状を教えてほしい。
事務局	改めて確認してみる。
委員	一時期、体育館整備事業においてPFI方式が比較的採用されていたこともあったが、少し時間が経ち、デメリットなども明らかとなってきた。メリットやデメリットを比較した際に、PFI事業で行うことは、戸田市のスポーツセンターにあまりあてはまらないのではないかと考えているが、予算的な部分や建設費など含めて事務局の意見を伺いたい。
事務局	20年という長期契約になるということで、近年の物価上昇率が高い状態の中で、PFI方式を採用するということは、もちろんリスクも考えられるのではないかと考えている。実際に入札不調となっている事業もあると聞いている。一方で墨田区の場合は、民間のノウハウを使って運営しているという点で、職員やプログラムが組み込まれており、公共と民間の区別が難しいほどスポーツクラブに近いイメージでの運営がされていると感じた。PFI方式のメリット・デメリットが戸田市においてどう当てはまっていくかは今後の検討と思っている。
委員	PFI方式のデメリットとして、PFI事業だから利用料が上がったということか。どれだけ上がるのか、比率などがあれば教えてほしい。
事務局	PFI事業だから高くなるというわけではなく、自治体と事業者の最初の取り決めによることかと思う。自治体側が今までの条例どおりの金額設定にするということであれば、

	事業者側がそれにあわせて計画を立て、協議することになるかと思う。取り決めの中で利用料を低く設定することも可能だが、その場合は、自治体の負担も増えることにはなるかと思う。
委員長	視察先と今のスポーツセンターの料金比較をできるか。
事務局	改めて整理する。 現在のスポーツセンターは、プール棟は新設した関係で利用料金が高くなっているが、センター棟の利用料金はかなり低い設定となっている。
委員	墨田区総合体育館の興行利用での利用料金は公表されているか。
事務局	興行利用はそれぞれ契約を結んでいるのではないかと思われる。確認してみる。
委員	墨田区総合体育館では、プロスポーツ利用の仕様を事前に分かっていれば、対応できたかもしれないとのことであったが、観客席を増やせばもちろん建設費用がかかるわけであり、区のスポーツ事業としてやりたかったことだったのか。それとも、施設の収入をあげるために必要なのか。そのあたりを伺いたい。
事務局	そもそもプロスポーツ利用を想定していなかったのではないかと思う。ただ、大きな観客席にしていればホームタウンにもでき、定期的な試合ができるということで固定の使用料が入り、大きな収益につながったのでは、ということかと思う。
委員長	■議題（２）基本構想策定に向けた今後の論点として陸上競技場の資料について説明をお願いしたい。
事務局	■議題（２）基本構想策定に向けた今後の論点として陸上競技場の資料について説明。
委員長	本日は、陸上競技場の説明だったが、意見を伺いたい。
委員	思いつきではあるが、屋上に陸上競技場をつくることはできないか。そうすればヘリコプターの離着陸場の問題も解決でき、その下でアリーナなどの施設を利用することができるようではないか。
委員	大型の施設を整備し、１階に陸上競技場、２・３階などをアリーナとするのはどうか。球技などとの兼ね合いもあるかと思うが、近年の暑さなどを考えると、陸上競技場の屋内化も検討してはどうか。
事務局	屋内の陸上競技場であれば、国内では雪の多い地域などを中心にいくつか事例がある。ただし、陸上競技場という大空間の上にアリーナをのせるとなると、構造的にかなり強固なものにしていく必要があり、非常に建設費がかかるかと思う。屋上に作る案についても、屋根を付けない限り可能かと思う。小さなジョギング走路などを屋上に整備している事例は国内でもあるが、400m公認トラックとなると、こちらもかなり大規模な施設になるかと思う。いずれにしても、施設規模と建設費との兼ね合いになるかと思う。
委員長	コスト的な部分がかかってくるという印象である。
委員	現在あるテニスコートとの兼ね合いも考慮してほしい。

委員長	300mトラックか400mトラックかについても意見を伺いたい。
委員	これまで400mトラックが良いと思っていたが、利用の比較を考えると戸田市のレベルで必ずしも400mが必要なのかと感じた。
事務局	アンケートやヒアリングでは、400mトラックの練習環境に関するニーズは一定程度ある。ただし、公認を取得するのか、柵などを設置するのか、スタンドをどうするのかなどによって面積等変わってくるため、仕様を検討する必要がある。
委員	陸上競技場を400mにすることで、その他の施設等への影響や、公園としての面積、利用価値などが小さくなる恐れはないのか。
事務局	比較的面積の小さい練馬区の陸上競技場では、トラック内でイベントなどのスポーツ以外での市民向け利用を実施しているようである。もちろん、陸上競技場が大きくなればその敷地が必要であるため、その他のテニスコートや運動施設等にも影響がある。現時点ではそれらの施設は、現在の規模程度での配置はできるように考えているが、それ以外に公園内にどのような機能を持たせていくかは今後議論が必要であると考えている。
委員	現在の10,000㎡程度の陸上競技場から、18,000㎡程度の400m陸上競技場に拡大するにあたり、区画整理事業による都市公園の敷地や、環境空間を活用し、スポーツセンターとしての面積を広げていくことを模索しているかと思うが、どのくらい敷地を広げることができるのか。
事務局	現在の敷地は約4haであり、その中にスポーツセンターがある。区画整理事業による都市公園部分9,200㎡程度と、4,000㎡程度の環境空間と、計13,000㎡程度の敷地が現在より増えると考えている。400mトラックを整備する場合に新たに必要となる面積は、この増加分で足りる想定である。
委員	練馬区にある250mの公認陸上競技場は何のために公認を取得しているのか。
事務局	公認を取得した理由までは確認していないが、下水道処理施設の上部利用というイメージかと思う。
委員	今回は陸上競技場に関する検討かと思うが、メインはアリーナになるかと思う。当初の目的として、今の施設よりも使いやすくするということがあるかと思うので、配置などについてはよく検討していただきたいと思う。
委員長	屋内施設も勘案して全体を検討していったほしいと思う。
委員	屋内施設と屋外施設の利用者の比率はどのくらいか。
事務局	大半は屋内競技場の利用者かと思う。全体利用者は約32万人で、テニス、弓道場も含めた屋外施設利用者は約8～9万人である。屋外施設はテニスコートの利用者が多い。
委員	大半は屋内施設の利用者であるため、そのあたりも考慮していったほしい。
委員	墨田区総合体育館に行ったことがあるが、公園に入ってまず目の前に広場があることが

	印象的であった。競技者の視点もあるかと思うが、400m陸上競技場で敷地をとってしまうことで、そのような広場などが小さくなることが懸念される。
委員	スポーツニーズとして、ウォーキングなどの個のニーズが高まっている中で、どのような公園にしていくか、ビジョンやコンセプトから考えていくと良いのではないか。もちろん競技力向上の視点では400mが良いと思うが、そこに行くとウォーキングやランニングが気軽にできるような場所とするのか、サッカーやラグビーなどの利用をしっかりとできる場所とするのか、天秤にかけていく必要があるかと思う。
委員	大きい施設を整備して駐車場を小さくすると使い勝手が悪くなる。駐車場は広く取り、誰でも来られるようにすることも必要である。
委員長	市民ニーズなのか、競技力向上なのか、施設利用の方向性を早めに考えていく必要があるかと思う。
事務局	■その他・連絡事項 次回の委員会開催時期については、5月頃を予定している。今回は、陸上競技場以外の施設の導入機能についても検討を行いたい。年度が替わったら日程調整の連絡をさせていただく。 年度の切り替わりに伴い、代表者の変更による本委員会への出席者の変更等があれば、4月中に事務局まで連絡をお願いしたい。 本委員会は当初二年間で全7回の実施を予定していたが、導入機能の検討など、検討事項が当初の想定より多くなっているため、来年度1回追加で開催することを検討している。ご理解ご協力いただければと思う。
事務局	■閉会